



広島県内における コウヨウザンの生育状況

林業技術センター 林業研究部 涌嶋 智

はじめに

広島県の庄原市川北町には、今年55年生になる日本最大のコウヨウザンの林分（八谷氏所有林）があり（写真1）、林業技術センターは、この貴重な林分を対象として現在色々な調査、研究を行っています。



写真1 庄原市のコウヨウザン林分

昨年の8月には地上型レーザースカナ（TLS）による立木と地形の3次元計測を行っており



写真2 TLS調査

（写真2）、現在は正確な立木位置図と詳細な地形図の作成に取りかかっているほか、今後は立木の樹高や樹幹の形状などについて3次元データを用いて、詳しく見ていく予定です。

また、平成20年に伐採された切株から伸びた萌芽の成長について調査を開始したほか（写真3）、寒冷紗による簡易なトラップを作成し、種子散布量や落葉・落枝量の推移などについて調べているところです（写真4）。

これらは今後も継続して調査を



写真4 簡易なトラップ



写真3 萌芽調査

行い、得られた結果については、当センターの成果発表会等を通じて公表していく予定です。

広島県内の コウヨウザン

一方、広島県内のあちこちに、単木または数本ずつではありますが、コウヨウザンが植えられていることが分かってきました。

図1はこれまでに明らかとなったコウヨウザンの生育地の位置図

どんなところにあるの？

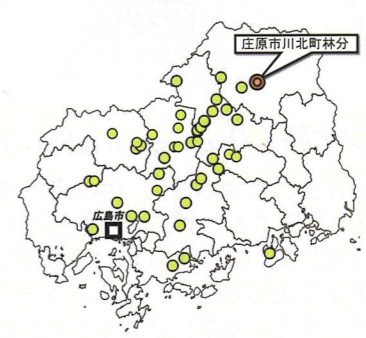


図1 コウヨウザンの生育地

ですが、庄原市川北町の林分および周辺部を除き、平成29年末時点で県北部から島しょ部にかけて計47箇所、91本が確認できました。

図2に生育している市町別と所有別の円グラフを示します。コウヨウザンの生育箇所数が最も多かったのは三次市で13箇所、次いで広島市と安芸高田市が同数で並び8箇所、以下、東広島市や北広島町などでした。所有別では、神社や寺院の敷地に植えられているものが最も多く、全体の約半数を占めています。なぜ、神社や寺院に多く植えられているのか理由は良くわかりませんが、過去のある時期に苗木が配られて、それらが成長し現在残っているのではないかと推測しています。

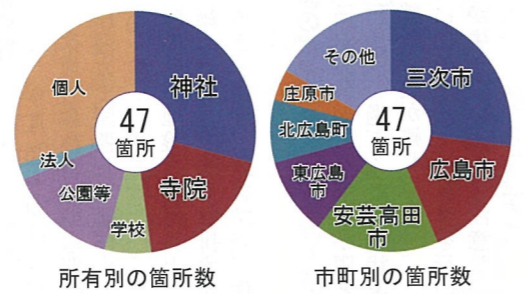


図2 生育地の市町・所有別の割合

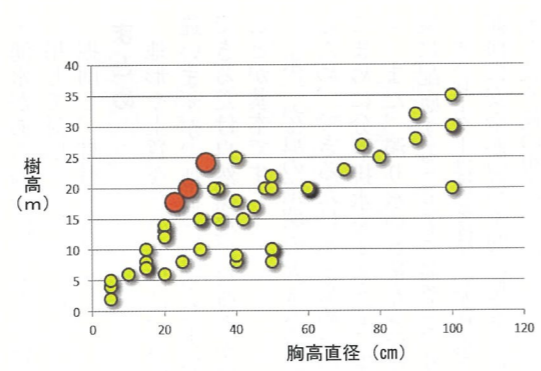


図3 コウヨウザンの樹高と胸高直径



写真5 郡山公園の個体

おわりに

当センターでは、県内で生育しているこれらのコウヨウザン個体について履歴などを明らかにするとともに、着花状況や成長について今後も継続的に調査していく予定です。なお、立木の調査に当たり、(二財)広島県森林整備・農業振興財団をはじめ、多くの方々のご協力をいただきましたことに改めて感謝を表します。また、今回ご紹介した以外にもコウヨウザンの未確認個体があると思いますので、情報がありましたらご一報ください。

* 林業技術センター連絡先
0824-633-5181 (代表)

森林を育て 木材を活かし 環境にやさしい木(間伐材)の利用

校倉式床固工・護岸工 (NETIS登録商品)

ACQ加圧注入処理

県産材の積極的利用に取り組んでおります
防腐・防蟻・加圧注入処理 (ACQ)
(10年保証仕様)

株式会社 柳本商店

本社: 〒721-0996 福山市手城町3丁目11-8
Tel (084) 921-2717 Fax (084) 921-2903
松永工場: 〒729-0105 福山市南松永町3丁目3-50
Tel (084) 934-6477 Fax (084) 934-5860